



2025年2月3日

各 位

会社名 味の素株式会社
代表者名 代表執行役社長 中村 茂雄
(コード番号 2802 東証プライム)
問合せ先 執行役 栢原 紫野
(TEL. 03-5250-8111)

代表執行役の異動に関するお知らせ

当社は、2025年2月3日開催の取締役会において、以下のとおり代表執行役の異動を決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 異動の理由

当社は、2025年2月3日開催の取締役会において、社外取締役のみで構成する指名委員会による代表執行役社長候補者の選定に基づいて、2025年2月3日付の社長の交代を決定しました。

新たに代表執行役社長として中村茂雄（現 執行役常務、ラテンアメリカ本部長）が就任しました。また、藤江太郎は執行役会長に就任しました。

本日付の社長交代の理由は、本人より、昨年12月下旬に体調を崩したこと、現状順調に回復しているものの完全回復には一定期間要する見通しであることより、経営の空白が生じるリスクを最小化するため、代表執行役社長の辞任の申し出があったことによるものです。これを受け、指名委員会にて非常時のCEOサクセッションプランに従い協議した結果、2025年2月3日付での中村茂雄の代表執行役社長就任を決定しました。

2. 異動する代表執行役の氏名・役職名

(1) 新任

新役職	現役職	氏名
代表執行役社長 最高経営責任者 ラテンアメリカ本部長 ※	執行役常務 ラテンアメリカ本部長	中村 茂雄

※：ラテンアメリカ本部長は、2025年4月1日付で退任予定。

(2) 退任

新役職	現役職	氏名
執行役会長	代表執行役社長 最高経営責任者	藤江 太郎

3. 新任代表執行役の生年月日、略歴、持ち株数

(1) 中村 茂雄(なかむら しげお)

①生年月日：1967年10月13日

②略歴

1992年4月	当社入社
2019年6月	当社執行役員
2019年6月	味の素ファインテクノ社社長
2021年6月	当社執行理事
2021年6月	当社アミノサイエンス事業本部化成品部長
2022年4月	当社執行役常務
2022年4月	当社ラテンアメリカ本部長 【現任】 ※2025年4月退任予定
2025年2月	当社代表執行役社長 【現任】
2025年2月	当社最高経営責任者 【現任】

③持ち株数：8,158株（2024年12月31日現在）

4. 就任（退任）日

2025年2月3日

【別紙】

1. 社長交代と執行役異動のお知らせ
2. 取締役候補者決定のお知らせ

以 上

2025年2月3日

味の素(株) 社長交代と執行役異動のお知らせ

味の素株式会社(社長：藤江 太郎 本社：東京都中央区)は、2025年2月3日開催の取締役会において、社外取締役のみで構成する指名委員会による代表執行役社長候補者の選定に基づいて、2025年2月3日付の社長の交代を決定しました。また、新たな代表執行役社長による選定に基づいて、2025年4月1日付の他の執行役の異動を決定しました。

新たに代表執行役社長として中村茂雄(現 執行役常務、ラテンアメリカ本部長)が就任しました。また、藤江太郎は執行役会長に就任しました。

【本日付の社長交代の理由】

藤江太郎は昨年12月下旬に体調を崩し、現状順調に回復しているものの完全回復には一定期間要する見通しであることより、経営の空白が生じるリスクを最小化するため代表執行役社長の辞任の申し出が本人からありました。それを受け指名委員会にて非常時のCEOサクセッションプランに従い協議した結果、2025年2月3日付での中村茂雄の代表執行役社長就任を決定しました。

【「ASV経営」の更なる加速と持続的な企業価値の向上にむけて】

当社グループは「中期ASV^{※1}経営」を推進し、「志」である「アミノサイエンス[®]」^{※2}で、人・社会・地球のWell-beingに貢献することにより、企業価値を持続的に高めていくことが重要と考えています。

新社長の中村は、当社入社以来、味の素ビルドアップフィルム[®](ABF)を軸とする電子材料事業の立ち上げおよびその成長をけん引し、ラテンアメリカ本部長兼ブラジル味の素社長として食品事業およびバイオ&ファインケミカル事業の事業基盤強化と大きな成長の実現に多くの実績を残してきました。また当社では初の技術分野出身の社長であり、50代の若さとスピード感そして変革の推進力により、更なる「中期ASV経営」と「企業文化変革」の加速およびそれらに伴う企業価値の向上が実現できると判断いたしました。

速やかに新体制に移行し新社長が十二分にその役割を発揮すべく、藤江は執行役会長としてサポートしていきます。

執行役には、「2030年のありたい姿」の実現に向けて全社最適でのリーダーシップの発揮と新たな価値創出ができる人財を選任し、新社長のもとチーム一丸となり「中期ASV経営」を更に加速します。ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DE&I)を率先して推進すべく、2025年度は女性を1名追加し4名、また外国人は引き続き2名を選任し、持続的な企業価値の向上を実現していきます。

【新代表執行役社長 最高経営責任者 中村茂雄からのメッセージ】

「ASV経営」と「志」を引継ぎ、自身の経験と強みである顧客・市場ニーズを先読みした「高速開発システム」を型化して展開することで、「2030年のありたい姿」を前倒して実現することに全身全霊で取り組む所存です。

また、当社グループが有する「アミノサイエンス[®]」のユニークネスと「人財」「技術」「顧客」「組織」の無形資産を、より多様性と創造性の高い人財を育成することで磨き込み、より多くの人、社会、地球のWell-beingに貢献する企業として持続的に企業価値を高めていきたいと思っております。さらに、失敗を恐れず挑戦を促すと共にその挑戦の質を高めていくことで、「従業員・組織が本来持つ能力を十分に発揮できる、主体的に挑戦・成長できる文化」へと進化させ、「働きがいNo.1の企業グループ」実現に向けて取り組みます。

※1)ASV(Ajinomoto Group Creating Shared Value)は、事業を通じて社会価値と経済価値の共創に取り組むこと。味の素グループが「将来ありたい姿」、志(パーパス)を実現するための基本的な考え方です。

※2)アミノサイエンス[®]は、アミノ酸のはたらきに徹底的にこだわった研究プロセスや実装化プロセスから得られる多様な素材・機能・サービスの総称で、それらを社会課題の解決やWell-beingの貢献につなげる、味の素グループ独自の科学的アプローチです。

○社長交代

【2月3日付】経営会議を構成する執行役

新役職	現役職	氏名
代表執行役社長 最高経営責任者 ラテンアメリカ本部長	執行役常務 ラテンアメリカ本部長	中村 茂雄

【2月3日付】その他の執行役

新役職	現役職	氏名
執行役会長	代表執行役社長 最高経営責任者	藤江 太郎

○執行役異動

【4月1日付】経営会議を構成する執行役

新役職	現役職	氏名
代表執行役社長 最高経営責任者	執行役常務 ラテンアメリカ本部長	中村 茂雄
代表執行役副社長 Chief Innovation Officer (CIO) 研究開発統括	代表執行役副社長 Chief Innovation Officer (CIO) 研究開発統括	白神 浩
執行役専務 コーポレート本部長	執行役専務 コーポレート本部長	佐々木 達哉
執行役専務 食品事業本部長	執行役専務 食品事業本部長	正井 義照
執行役専務 Chief Digital Officer (CDO) 生産統括	執行役専務 Chief Digital Officer (CDO) 生産統括	香田 隆之
執行役専務 バイオ&ファインケミカル事業本部長	執行役常務 バイオ&ファインケミカル事業本部長	前田 純男
執行役常務 Chief Transformation Officer (CXO)	執行役常務 Chief Transformation Officer (CXO)	斉藤 剛
執行役常務 財務・IR担当	執行役常務 財務・IR担当	水谷 英一
執行役 品質保証担当	執行役 品質保証担当	スムリガ・ ミロスラブ ^{※3}
執行役 ダイバーシティ・人財担当 指名・報酬委員会担当	執行役 ダイバーシティ・人財担当 指名・報酬委員会担当	栢原 紫野

【4月1日付】 その他の執行役員

新役職	現役職	氏名
執行役会長	代表執行役社長 最高経営責任者	藤江 太郎
執行役専務 アセアン本部長	執行役常務 アセアン本部長	坂倉 一郎
執行役常務 北米本部長	執行役常務 北米本部長	吉良 郁夫
執行役常務 食品事業本部副事業本部長 マーケティング戦略担当 マーケティングデザインセンター長	執行役常務 食品事業本部副事業本部長 マーケティング戦略担当 マーケティングデザインセンター長	岡本 達也
執行役常務 冷凍食品統括	執行役常務 冷凍食品統括	川名 秀明
執行役常務 食品事業本部副事業本部長 食品営業統括	執行役常務 食品事業本部副事業本部長 食品営業統括	田原 貴之
執行役常務 バイオ&ファインケミカル事業本部 副事業本部長 バイオ・ファイン研究所長 川崎事業所長	執行役常務 バイオ&ファインケミカル事業本部 副事業本部長 バイオ・ファイン研究所長 川崎事業所長	高柳 大
執行役 グリーン事業推進担当	執行役 グリーン事業推進担当	柏原 正樹
執行役 経営企画担当	執行役 経営企画担当	嵐田 高彰
執行役 欧州アフリカ本部長	執行役 欧州アフリカ本部長	森 妹子
執行役 バイオ&ファインケミカル事業本部 副事業本部長 アミノ酸部長	執行役 バイオ&ファインケミカル事業本部 副事業本部長 アミノ酸部長	リッシュ・ マイケル ^{※3}
執行役 内部統制・監査委員会担当	執行役 内部統制・監査委員会担当	竹原 修平
執行役 食品事業本部副事業本部長 コンシューマーフーズ事業部長	執行役 食品事業本部副事業本部長 コンシューマーフーズ事業部長	神谷 歩
執行役 ラテンアメリカ本部長	味の素AGF社副社長	山本 直子 (新任)
執行役 食品事業本部副事業本部長 食品研究所長	食品研究所 コンシューマーフーズ開発センター長	川瀬 博士 (新任)
執行役 サステナビリティ担当 ^{※4}	執行理事 サステナビリティ推進部長	小野 郁 (新任)

※3)外国語の氏名についても、姓・名の順で記載しています。

※4)コミュニケーション担当については、佐々木執行役専務に委嘱します。

【4月1日付】 退任執行役

退任前の役職	氏名
執行役常務 食品事業本部副事業本部長 食品研究所長	小島 淳一郎
執行役常務 サステナビリティ・コミュニケーション担当	森島 千佳

味の素グループは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートスローガンに、アミノサイエンス®で、人・社会・地球のWell-beingに貢献し、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2023年度の売上高は1兆4,392億円。世界34の国・地域に拠点を置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります(2024年現在)。詳しくは、www.ajinomoto.co.jpをご覧ください。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先：[Pr_media](#)

2025年2月3日

味の素(株) 取締役候補者決定のお知らせ

味の素株式会社(社長：藤江 太郎 本社：東京都中央区)は、2025年1月30日開催の指名委員会において、以下の通り取締役候補者および法定3委員会の委員候補者等を選定し、2025年2月3日開催の取締役会において報告しました。

なお、取締役の異動については2025年6月下旬開催の当社株主総会において、取締役会議長および法定3委員会の委員等の異動については株主総会後の取締役会において決定します。

【中山讓治指名委員会委員長による説明】

当社グループが、「中期ASV^{※1}経営」を推進し「アミノサイエンス[®]※2で、人・社会・地球のWell-beingに貢献する」ことにより、企業価値を持続的に高めていくために、指名委員会が設定した取締役に求められるスキルとその相互補完の観点を踏まえてその候補者を選定しました。独立の立場から客観的に業務執行を監督する社外取締役6名、最高経営責任者を含む執行役を兼任する社内取締役4名、および常勤監査委員である社内取締役1名の構成を継続します。女性取締役にについても4名、比率30%超の体制を継続し、指名委員会および報酬委員会は社外取締役のみで構成します。

執行役を兼任する社内取締役にについては、2月3日の代表執行役社長の交代を踏まえ、2025年6月下旬の株主総会をもって藤江取締役が退任し、中村代表執行役社長が新たに取締役に就任する予定です。

当社取締役会は、経営の最高意思決定機関として、引き続き企業価値の持続的な向上に努めてまいります。

※1)Ajinomoto Group Creating Shared Valueは、事業を通じて社会価値と経済価値の共創に取り組むこと。味の素グループが「将来ありたい姿」、志(パーパス)を実現するための基本的な考え方です。

※2)アミノサイエンス[®]は、アミノ酸のはたらきに徹底的にこだわった研究プロセスや実装化プロセスから得られる多様な素材・機能・サービスの総称で、それらを社会課題の解決やWell-beingの貢献につなげる、味の素グループ独自の科学的アプローチです。

【6月下旬付】独立社外取締役

新役職	現役職	氏名
取締役 取締役会議長 指名委員 報酬委員	取締役 取締役会議長 指名委員 報酬委員	岩田 喜美枝
取締役 指名委員会委員長 報酬委員 監査委員	取締役 指名委員会委員長 報酬委員 監査委員	中山 讓治
取締役 監査委員会委員長 指名委員	取締役 監査委員会委員長 指名委員	引頭 麻実

取締役 報酬委員 監査委員	取締役 報酬委員 監査委員	八田 陽子
取締役 報酬委員会委員長 指名委員	取締役 報酬委員会委員長 指名委員	デイヴィス・スコット ※3
取締役 指名委員 監査委員	取締役 指名委員 監査委員	我妻 由佳子

※3)外国語の氏名についても、姓・名の順で記載しています。

【6月下旬付】社内取締役

新役職	現役職	氏名
取締役 代表執行役社長 最高経営責任者	執行役常務 ラテンアメリカ本部長	中村 茂雄 (新任)
取締役 代表執行役副社長 Chief Innovation Officer (CIO) 研究開発統括	取締役 代表執行役副社長 Chief Innovation Officer (CIO) 研究開発統括	白神 浩
取締役 執行役専務 コーポレート本部長	取締役 執行役専務 コーポレート本部長	佐々木 達哉
取締役 執行役常務 Chief Transformation Officer (CXO)	取締役 執行役常務 Chief Transformation Officer (CXO)	斉藤 剛
取締役 常勤監査委員	取締役 常勤監査委員	松澤 巧

【6月下旬付】退任取締役

退任前の役職	氏名
取締役 執行役会長	藤江 太郎

参 考

【当社取締役(6月下旬以降)のスキルマトリックス】

各取締役が保有するスキルを最大4つまで記載。保有する全てのスキルを表すものではありません。

氏名 \ スキル	経営戦略	グローバル	サステナビリティ	デジタル	研究開発・生産	マーケティング・セールス	財務・会計	人事・人材開発	リスクマネジメント・法務
岩田 喜美枝	○		○					○	
中山 譲治	○	○			○			○	
引頭 麻実	○						○		○
八田 陽子		○					○		○
デイヴィス・スコット	○	○	○					○	
我妻 由佳子		○							○
中村 茂雄	○	○			○	○			
白神 浩	○	○		○	○				
佐々木 達哉	○	○	○			○			
斉藤 剛	○			○	○		○		
松澤 巧		○						○	○

なお、取締役のスキルマトリックスに使用しているスキルの定義および選定理由は以下の通りです。

スキル	定義	選定理由
経営戦略	事業に精通し、資本市場を意識した的確な戦略を監督・推進することで、持続的な成長を通じて企業価値の向上を実現するスキル	アミノサイエンス®で人・社会・地球のWell-beingに貢献する企業として、Ajinomoto Group Creating Shared Value(ASV)経営の推進を通じて味の素グループの企業価値を飛躍的に高めることに必要なため
グローバル	多様な価値観や文化を踏まえて、グローバルに事業を展開するための的確な戦略を監督・推進するスキル	事業領域のグローバルな持続的拡大に向けた、多様な価値観や文化への理解に基づく業務執行の適切な監督・推進に必要なため
サステナビリティ	持続可能な社会の実現に向けて、事業を通じて社会的課題を解決するための的確な戦略を監督・推進するスキル	社会価値と経済価値を両立させるASV経営を通じて、「10億人の健康寿命の延伸」および「環境負荷の50%削減」を実現することに必要なため
デジタル	IT・デジタル技術を駆使した、イノベーション、生産性の向上等に向けた的確な戦略を監督・推進するスキル	DXを通じて市場競争力・効率性・生産性を高め、企業価値を向上させながら、アミノサイエンス®で人・社会・地球のWell-beingに貢献する企業に変革するために必要なため
研究開発・生産	イノベーティブな研究開発と安全・安心な製品・サービスを絶えず追求していくための的確な戦略を監督・推進するスキル	アミノサイエンス®によるイノベーションによって、「10億人の健康寿命の延伸」および「環境負荷の50%削減」を実現することに必要なため

セールス・マーケティング	重点事業の成長を加速させるためのブランド価値向上に向けた的確な戦略を監督・推進するスキル	市場・生活者の価値観に合致したブランドマネジメントと、「スピードアップ×スケールアップ」による成長に必要なため
財務・会計	財務・会計・税務の高度な専門性に基づき、的確な戦略を監督・推進するスキル	ASV経営による企業価値の最大化、成長投資と株主還元の両立を実現する戦略の立案・推進、および業務執行の適切な監督に必要なため
人事・人財開発	多様な人財一人ひとりが能力を開発し、最大限に発揮するための的確な戦略を監督・推進するスキル	全ての無形資産の価値を高める原動力となる人財資産を、個人と組織の共成長により強化し、ASV経営を進化させることに必要なため
法務・リスクマネジメント	法令順守・コーポレートガバナンス・リスク管理を通じた持続的な企業価値の向上を実現するための的確な戦略を監督・推進するスキル	Ajinomoto Group Policies(AGP) ^{※4} の浸透・実践を通じた持続的な企業価値の向上を実現し、ASV経営を安定的かつ着実に推進することに必要なため

※4)AGPは、味の素グループ各社およびそこに働く一人ひとりが順守すべき考え方と行動のあり方を示すと同時に、誠実に順守することをすべてのステークホルダーに約束するものです。

味の素グループは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートスローガンに、アミノサイエンス®で、人・社会・地球のWell-beingに貢献し、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2023年度の売上高は1兆4,392億円。世界34の国・地域に拠点を置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります(2024年現在)。詳しくは、www.ajinomoto.co.jpをご覧ください。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先：[Pr_media](#)